

プレス公表（運転保守状況）

2019年1月10日

No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
①	2019年 1月9日	—	柏崎刈羽原子力発電所事務本館内におけるニュースアトム返信ハガキの紛失の疑いについて	<p>【発生状況】</p> <p>2019年1月8日、当所事務本館内において、ニュースアトムの読者の皆さまからいただいた返信ハガキを整理していたところ、郵便物として受領した返信ハガキの枚数が10枚不足していることを確認しました。</p> <p>事務本館内において、郵便物としての受領の検収のために数えた返信ハガキの枚数と、その後、返信ハガキを管理するためにナンバーをスタンプしながら数えた枚数が一致しないことにより判明したものです。</p> <p>当該ハガキには、投函された方の氏名や住所、電話番号などの個人情報を記載する欄があり、これまで事務本館内等を検索してまいりましたが、現時点で発見できていないことから紛失の疑いがあるものと判断いたしました。</p> <p>なお、当該ハガキは事務本館内でのみ取り扱っていたため、発電所構外に個人情報が漏えいした可能性は低いものと考えております。</p> <p>当所といたしましては、ニュースアトム読者の皆さまの大切な個人情報を紛失した疑いが生じたことに対し、心よりお詫び申し上げます。今後、徹底した再発防止対策を講じ、個人情報の厳正的確管理に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（2019年1月9日にお知らせ済み）</p>

(お知らせメモ)

柏崎刈羽原子力発電所事務本館内における  
ニュースアトム返信ハガキの紛失の疑いについて

2019年1月9日  
東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

昨日（1月8日）、当所事務本館内において、ニュースアトムの読者の皆さまからいただいた返信ハガキを整理していたところ、郵便物として受領した返信ハガキの枚数が10枚不足していることを確認しました。

事務本館内において、郵便物としての受領の検収のために数えた返信ハガキの枚数と、その後、返信ハガキを管理するためにナンバーをスタンプしながら数えた枚数が一致しないことにより判明したものです。

当該ハガキには、投函された方の氏名や住所、電話番号などの個人情報を記載する欄があり、これまで事務本館内等を検索してまいりましたが、現時点で発見できていないことから紛失の疑いがあるものと判断いたしました。

なお、当該ハガキは事務本館内でのみ取り扱っていたため、発電所構外に個人情報が漏えいした可能性は低いものと考えております。

当所といたしましては、ニュースアトム読者の皆さまの大切な個人情報を紛失した疑いが生じたことに対し、心よりお詫び申し上げます。今後、徹底した再発防止対策を講じ、個人情報の厳正的確管理に努めてまいります。

以上

【添付資料】

- ・ニュースアトム返信ハガキ

【本件に関するお問い合わせ】

東京電力ホールディングス株式会社 柏崎刈羽原子力発電所

○読者の皆さまのお問い合わせ先

広報部 企画広報グループ 0120-120-448

○報道関係者の皆さまのお問い合わせ先

広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

<添付資料>

ニュースアトム返信ハガキ

郵便はがき

料金受取人払郵便

柏崎局 承認 60

差出有効期間 2019年5月31日 まで (切手不要)

9 4 5 8 7 9 0

柏崎市青山町16番地46

東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 行

〒

ふりがな \_\_\_\_\_ 男・女

お名前 \_\_\_\_\_ 年齢 歳

ご住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

ご記入いただきました内容は、今後のイベントの案内、ご質問等への回答、紙面づくりに使用させていただく場合があります。(2019年1月号)

皆さまの声をお聞かせください

① 今月号で良かったと思う内容に○をつけてください。また、その理由をお聞かせください。(複数回答可)

①表紙 ②新年のごあいさつ ③発電所ニュース  
④発電所の一員として  
⑤渋谷駿 プレミアムマジック・ライブ  
⑥「アルゼンチンタンゴ・コンサート」収録CDプレゼント  
⑦映画鑑賞会のご案内 ⑧読者プレゼント  
⑨和菓子作り体験教室と発電所見学会  
⑩発電所DATA ⑪へんしゅう後記  
[理由など]

② 原子力発電についてのご意見をお聞かせください。

①必要 ②まあ必要 ③どちらともいえない  
④あまり必要でない ⑤全く必要でない

イベントに参加ご希望の方は、ご希望される全てのイベントの申し込み枠内に必要事項をご記入ください。

■和菓子作り体験教室と発電所見学会

●開催日:2月16日(土)

参加人数 大人 \_\_\_\_\_ 人 小学生以下 \_\_\_\_\_ 人

●応募締切/1月21日(月)必着

■映画鑑賞会

上映作品ごとに①~③までご希望の順番をご記入ください。

作品 上映日	ご希望人数 ※2名さままで	上映回		
		10時	14時	18時30分
「愛を積むひと」 2月23日(土)	人			
「チチを撮りに」 2月24日(日)	人			

●応募締切/1月31日(木)当日消印有効

■アルゼンチンタンゴ・コンサート  
応募者全員へCDプレゼント

ご希望の方は右記に○をお付けください。

●応募締切/1月31日(木)当日消印有効

CD希望

※裏面のお名前、ご住所、電話番号、年齢を必ずご記入ください。  
なお、お申し込み内容について、お間違いないようにご記入ください。

## 【参考】プレス公表 継続対応中件名リスト

号 機	件 名
1号機	非常用ディーゼル発電機の過給機の軸固着について（区分Ⅰ）
—	荒浜側立坑付近のケーブル洞道内の火災について（区分Ⅰ）

【参考】プレス公表（運転保守状況）

2018年12月13日

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	2018年 8月30日 9月6日 9月12日 10月3日 10月29日 12月4日 12月12日	1号機	非常用ディーゼル発電機の過給機の軸固着について（区分Ⅰ）	<p><b>【事象の発生】</b> 当社柏崎刈羽原子力発電所は、2018年8月30日に発生した1号機の非常用ディーゼル発電機の出力低下の原因調査をしていましたが、9月6日に過給機の軸が固着していることを確認しております。</p> <p><b>【対応状況】</b> 12月12日、原子力規制委員会において「第4回原子力施設等における事故トラブル事象への対応に関する公開会合が開催され、当社から、当所1号機の非常用ディーゼル発電機の出力低下および、過給機の軸固着に関するこれまでの調査状況についてご説明させていただいております。</p> <p>軸が固着した過給機については、10月15日より工場で詳細調査を実施してはいましたが、「タービンブレード付け根部の疲労破損」が過給機の軸固着に至った起因と推定いたしました。なお、この事象に付随して、レーシングワイヤを含む他の部位が損傷したと評価いたしました。また、軸が固着していないもう一方の過給機において、1枚のタービンブレード付け根部にき裂を確認しておりますが、こちらについても、引き続き詳細調査をおこなってまいります。</p> <p>なお、これまで調査していた過給機以外のディーゼル機関本体や発電機設備については、異常は確認されませんでした。</p> <p>今後も引き続き、原因の特定に向けた調査を進めるとともに、再発防止策を取り纏め、1月下旬を目処に原子力規制委員会へ報告する予定です。</p> <p style="text-align: right;">（2018年12月12日までにお知らせ済み）</p>

【参考】プレス公表（運転保守状況）

2018年12月13日

No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
②	2018年 11月1日 11月16日 11月21日 11月30日	—	荒浜側立坑付近のケーブル洞道内の火災について（区分Ⅰ）	<p>【発生状況】 2018年11月1日午前6時28分頃、荒浜側立坑内において、発煙が確認されたため、午前6時31分頃に119番通報を実施しました。 なお、現場（荒浜側立坑入口から南側に約70m地点）では炎は確認されておらず、消火活動等は行っておりません。公設消防による現場確認の結果、午前8時45分に「鎮火」確認、午前9時に「火災」と判断されました。本火災によるプラントへの影響はありません。</p> <p>【対応状況】 ＜火災の原因調査＞ これまでの調査により、当該ケーブル接続部の端部にある接地線の取り付け箇所付近で、接地線が断線し、意図しない部分に電流が流れたため、当該部周辺が発熱し、熔融した可能性が高いと推定しております。引き続き原因調査を行います。</p> <p>＜情報連絡遅れ＞ 自治体への通報遅れや報道関係者へのFAX送信遅れについての原因と対策について取り纏め報告しております。 (2018年11月30日までにお知らせ済み)</p> <p>＜類似接続部の点検調査について＞ 類似箇所99箇所すべての外観点検および絶縁確認を実施し異常がないことを確認しております。</p> <p>＜公設消防との情報共有について＞ 11月21日に公設消防と検証会を開催し、以下の項目について対策を纏めています。 ・火災第1報（119番）の内容と続報 ・現場本部での分かり易い説明 ・現場本部の情報共有の課題 ・現場状況が異なる際の対応 ・洞道内の通信手段確保</p> <p>今後も引き続き、原因調査を進めるとともに、1月下旬を目処に原因対策を纏める予定です。</p>